

障害者の就業支援団体への発注等
に関するアンケート

(企業等用)

障害者在宅就業仲介(支援)団体名	
------------------	--

他の団体からもこのアンケートを受け取った場合には、貴企業から最も多く仕事を発注している団体から受け取ったアンケートにのみご回答ください(それ以外の団体から受け取ったアンケートは返送しなくて結構です)。

なお、他にこのアンケートを配布してきた団体があったかどうか等については、問1でおたずねしています。

事業所名		
所在地	〒	
担当者		
電話		
E-MAIL アドレス		

I このアンケートを受け取った経路について

問1 貴事業所では、このアンケートを他の団体からも受け取りましたか。いずれか当てはまるものの番号を○で囲んでください。表紙に書いてある団体以外のところからも同じアンケートを受け取った場合には、その団体の名称を記入してください。

このアンケートの表紙に書いてある団体のみから受け取った	1
このアンケートの表紙に書いてある団体以外のところからも受け取った	2

→ 他の団体からもアンケートを受け取った場合、その団体の名称

--

II 貴事業所について

問2 貴事業所の法人格等について、該当するものを1つ選んで番号を○で囲んでください。

株式会社等の民間企業	1
国・地方公共団体	2
独立行政法人又は特殊法人	3
社団法人・財団法人	4
社会福祉法人	5
医療法人	6
その他（具体的に)	7

問3 貴事業所の業種をお答えください。該当するものの番号、記号を○で囲んでください。

農林漁業	1	}	食料品・タバコ	a	
鉱業・建設業	2		繊維・衣服	b	
印刷業・同関連業(製本、加工等)	3		木材・家具・パルプ・紙	c	
製造業(3以外の製造業)	4		化学・窯業・土石	d	
電気・ガス・熱供給・水道業	5		鉄鋼	e	
情報通信業	6		非鉄金属	f	
運輸・通信業	7		金属製品	g	
卸売・小売業、飲食店	8		機械	h	
金融・保険・不動産業	9		その他(具体的に)	i	
飲食店、宿泊業	10		}	ソフトウェア業(ソフトウェア開発、プログラム作成、ホームページ作成等)	j
医療、福祉	11			情報処理・提供サービス業(データ入力、計算、加工、調査等)	k
教育、学習支援業	12			映像・音声情報制作業(映画・ビデオ・テレビ番組制作等)	l
サービス業	13			新聞・出版業	m
公務	14			その他(具体的に)	n
その他(具体的に)	15			}	土木建築サービス業(建築設計業、測量業等)
		デザイン・機械設計業	p		
		翻訳業	q		
		学術・開発研究機関	r		
		広告業(広告代理業、その他の広告業)	s		
		速記・ワープロ入力・複写業	t		
		その他(具体的に)	u		

問4 平成15年1月1日時点の貴事業所の規模、企業形態について、該当するものの番号を○で囲んでください。

(1) 貴事業所の従業員数（常用労働者）

9人以下	1
10～29人	2
30～55人	3
56～99人	4
100～299人	5
300～999人	6
1,000～1,999人	7
2,000～4,999人	8
5,000人以上	9

(2) 企業・団体の形態

1企業（団体）1事業所	1
1企業（団体）複数事業所	2

→ 事業所数 事業所

→ 企業・団体全体の従業員数(常用労働者)

9人以下	1
10～29人	2
30～55人	3
56～99人	4
100～299人	5
300～999人	6
1,000～1,999人	7
2,000～4,999人	8
5,000人以上	9

→ 貴事業所は本社事業所ですか

本社	1
本社以外	2

Ⅲ このアンケートを配布してきた障害者在宅就業仲介(支援)団体(※)について

問5から問9では、このアンケートを配布してきた障害者在宅就業仲介(支援)団体への仕事の発注の状況等についてお伺いします。複数の団体からこのアンケートを受け取った場合には、貴企業から最も多く仕事を発注している団体1つ(このアンケートの表紙に書いてある団体)についてお答えください。

※ 障害者在宅就業仲介(支援)団体：企業等から仕事の発注を受けて障害者に分配することにより障害者の在宅就業に関する仲介・支援を行っている団体をいいます。

問5 貴事業所にこのアンケートを配布してきた障害者在宅就業仲介(支援)団体に対し、貴事業所から、平成13年度中にどのくらい仕事を発注しましたか。延べ発注件数及び発注額を記入してください。また、その仕事の内容に当てはまるものの番号を○で囲み、その仕事の内容ごとの延べ発注件数、発注額を記入してください(一部分だけでも分かっている範囲でご記入ください。)

(1) 合計

延べ発注件数	発注総額
件	万円

(2) 仕事の内容ごとの内訳

	発注の有無	延べ発注件数	発注額
文書入力	1	件	万円
テープ起こし	2	件	万円
データ入力	3	件	万円
ホームページ作成	4	件	万円
システム設計	5	件	万円
プログラミング	6	件	万円
計算処理・情報検索	7	件	万円
設計・製図・デザイン	8	件	万円
DTP(編集)・電算写植	9	件	万円
ライター・翻訳	10	件	万円
調査・コンサルティング	11	件	万円
取引文書作成、伝票整理	12	件	万円
その他(具体的に)	13	件	万円
その他(具体的に)	14	件	万円

問6 貴事業所にこのアンケートを配布してきた障害者在宅就業仲介(支援)団体への仕事の発注はいつ頃から始めましたか。該当するものを1つ選んで番号を○で囲んでください。

1980年以前	1
1981～1990年	2
1991～1995年	3
1996～2000年	4
2001年以降	5

問7 このアンケートを配布してきた障害者在宅就業仲介(支援)団体への仕事の発注を始めた動機は何ですか。該当するものをすべて選んで番号を○で囲んでください。そのうち、最も重要なものは◎で囲んでください。

コスト削減のため	1
繁忙期の業務に対応するため	2
一時的な業務への対応	3
当該団体の仕事の質の高さを見込んで	4
障害者が仕事をする機会の増加に寄与するため	5
会社のイメージアップのため	6
当該団体から頼み込まれて	7
その他()	8

問8 このアンケートを配布してきた障害者在宅就業仲介(支援)団体を知ったきっかけを1つ選んで番号を○で囲んでください。

当該団体からの営業で	1
インターネットを通じて	2
県、市等の広報紙等での広報を見て	3
新聞や雑誌の広告を見て	4
ポスター、チラシ、パンフレットを見て	5
他社、知人からの紹介で	6
その他()	7

問9 平成13年度中における、このアンケートを配布してきた障害者在宅就業仲介(支援)団体の仕事についてはどのように評価していますか。次のA～Cの各項目について、1～5のうち最もよく当てはまるものの番号をそれぞれ記入してください。

A 仕事をする障害者の技能レベル	
B 価格	
C 納期	

- ←
- 1 大変満足している
 - 2 満足している
 - 3 普通
 - 4 やや不満である
 - 5 不満である

IV 障害者在宅就業仲介(支援)団体全般について

問 10 から問 14 までは、障害者在宅就業仲介(支援)団体全般に対する仕事の発注の状況等についておたずねします。このアンケートを配布してきた団体（このアンケートの表紙に書いてある団体）以外の障害者在宅就業仲介(支援)団体にも仕事を発注している場合は、このアンケートを配布してきた団体だけに限らず、障害者在宅就業仲介(支援)団体全般に対する仕事の発注の状況等についてお答えください。

問 10 貴事業所では、平成 13 年度中に、このアンケートを配布してきた団体以外の障害者在宅就業仲介(支援)団体に対し、仕事を発注したことがありますか。いずれか該当するものを 1 つ選んで番号を○で囲んでください。1 を選んだ場合には、その団体名も記入してください。

発注した	1
発注していない	2
わからない	3

→ 団体名

問 11 貴事業所は、障害者在宅就業仲介(支援)団体を通じて発注した仕事を、実際に行っている障害者と、直接電話やミーティングなどにより、打ち合わせをしたり、指示をしたりすることはありますか。

あ る	1
な い	2

問 12 貴事業所は、障害者在宅就業仲介(支援)団体を通じて発注した仕事を、実際に行っている障害者について、以下の事項を把握していますか。該当するものをすべて選んで番号を○で囲んでください。

就業場所	1
パソコン等の機器の設備の状況	2
使用できるソフトの状況	3
技能レベル、資格取得状況	4
就業時間	5
障害種別、程度	6
健康状態	7
1～7のいずれも把握していない	8

問 13 今後、貴事業所から障害者在宅就業仲介(支援)団体（このアンケートを配布してきた団体以外の障害者在宅就業仲介(支援)団体への発注も含みます）への発注量を増やす考えはありますか。当てはまるものを1つ選んで番号を○で囲んでください。増加又は減少が見込まれる場合には、その理由について、当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲み、そのうち最も重要なものを◎で囲んでください。

増やす見込み	1
減らす見込み	2
変えない見込み	3
わからない	4

→ 理由

発注している業務の増加が見込まれるため	a
仕事の質が高いため	b
価格が安い	c
仕事のスピードが速いため	d
障害者が仕事をする機会の増加に、より積極的に協力するため	e
その他（具体的に	f

→ 理由

発注している業務の減少が見込まれるため	g
発注している業務を内部で行うようにするため	h
仕事の質が劣るため	i
価格が高いため	j
仕事のスピードが遅いため	k
その他（具体的に	l

問 14 貴事業所から障害者在宅就業仲介(支援)団体（このアンケートを配布してきた団体以外の障害者在宅就業仲介(支援)団体への発注も含みます）への発注量を増加させるためには、何が重要だと思いますか。当てはまるものを3つまで選んで重要だと思うものから順に「1、2、3」と番号を記入してください。

障害者在宅就業仲介（支援）団体の営業努力	
障害者在宅就業仲介（支援）団体の障害者の能力（品質）の向上	
障害者在宅就業仲介（支援）団体の仕事の価格の低下	
障害者在宅就業仲介（支援）団体の仕事のスピードの向上	
障害者在宅就業仲介（支援）団体への発注に関する企業の動機づけを高めるような制度（具体的に	
国や地方公共団体による、障害者在宅就業仲介（支援）団体に関する情報提供	
その他(具体的に	

V 障害者在宅就業仲介(支援)団体以外の業者等への仕事の発注について

問 15 貴事業所では、平成 13 年度中に、障害者在宅就業仲介(支援)団体以外の業者等に以下の A～L の仕事を発注しましたか。発注した仕事の番号を○で囲んでください。また、発注した仕事について、それぞれ、その延べ発注件数と発注額を記入してください（不明な部分があっても分かっている範囲でご記入ください）。A～L のいずれの仕事も発注していない場合には、M の欄に○を記入してください。

	発注の有無	延べ発注件数	発注額
A 文書入力	1	件	万円
B テープ起こし	2	件	万円
C データ入力	3	件	万円
D ホームページ作成	4	件	万円
E システム設計	5	件	万円
F プログラミング	6	件	万円
G 計算処理・情報検索	7	件	万円
H 設計・製図・デザイン	8	件	万円
I DTP (編集)・電算写植	9	件	万円
J ライター・翻訳	10	件	万円
K 調査・コンサルティング	11	件	万円
L 取引文書作成、伝票整理	12	件	万円
M A～L のどの仕事も発注してない			

問 16 問 15 で選択した仕事は、どのような業者等に発注しましたか。該当するものをすべて選んで番号を○で囲んでください。

障害者ではない SOHO、在宅就業者	1
情報処理会社、印刷会社等の業者	2
シルバー人材センター	3
その他()	4

問 17 平成 13 年度中に障害者在宅就業仲介(支援)団体以外の業者等に問 15 の A～L の選択肢の仕事を発注した企業等にお伺いします。以下の A～D の事項について、障害者在宅就業仲介(支援)団体とそれ以外の業者等を比較した場合、障害者在宅就業仲介(支援)団体はどのように評価されますか。それぞれ 1～3 のいずれか当てはまるものを 1 つ選んで番号を○で囲んでください。

A 価格	1 高い	2 変わらない	3 安い
B 仕事の質	1 高い	2 変わらない	3 低い
C 発注への対応の柔軟性	1 高い	2 変わらない	3 低い
D 発注から納期までの期間	1 早い	2 変わらない	3 遅い

VI 貴事業所での障害者の雇用について

問 18 平成 15 年 1 月 1 日時点で、貴事業所で雇用する常用労働者のうち障害者の数は何人ですか。

障害者 人

うち重度障害者 人

※ 本問及び問 19 においてお答えいただく障害者は、身体障害者及び知的障害者とします。

* 「身体障害者」とは、原則として身体障害者福祉法に規定する身体障害者手帳の等級が 1 級から 6 級に該当する方です。このうちの重度障害者は、1 級又は 2 級とされる方です。

* 「知的障害者」とは、児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター、精神保健指定医又は障害者職業センターにより知的障害者と判定された方をいいます。このうちの重度障害者は、以下に該当する方です。

- ・療育手帳で程度が「A」とされている方
- ・児童相談所、知的障害者更生相談所、精神保健福祉センター又は精神保健指定医による療育手帳の「A」に相当する程度（特別障害者控除を受けられる程度等）とする判定書をもらっている方
- ・障害者職業センターにより「重度知的障害者」と判定された方

問 19 平成 15 年 1 月 1 日時点で貴事業所で雇用する常用労働者のうち、在宅勤務をしている（貴事業所に通勤せずに自宅その他の貴事業所以外の場所で勤務をする日が定期的にある場合をいいます。以下同じ。）者は何名いますか。また、そのうち障害者は何名いますか。

在宅勤務をしている常用労働者 人

うち障害者 人

VII ご意見・ご要望

問 20 障害者の在宅就業、在宅勤務に関してご意見・ご要望があれば自由に記入してください。

問 21 障害者雇用全般に関しご意見・ご要望があれば自由に記入してください。

以上で、調査は終わりです。ご協力ありがとうございました。

自治体における配慮型発注施策の取組状況

自治体における配慮型発注施策等の取組状況については、次の日本職業リハビリテーション学会のホームページに記載がある。

(3) 障害者雇用企業に対する支援

<http://www.normanet.ne.jp/~vocreha/3.htm>

以下は、上記ホームページを参考にしながら、2004年2月までの間にインターネット検索及び電話聴取等により確認した結果をごく簡単に取りまとめたものである。なお、下で記載しているホームページのURLは、2004年2月現在のものである。

●青森県

- 物品・役務調達に係る名簿登録の等級格付での優遇措置の実施

●岩手県

- 障害者雇用促進企業等からの物品等調達に係る優先的取り扱い： 身体障害者及び知的障害者の雇用率が1.8%以上であって、障害者を2名以上雇用している中小企業等に対して、物品等調達の指名競争入札及び随意契約を行うに当たって、優先的な取り扱いを実施

<http://www.pref.iwate.jp/~hp0701/yusen/imfo.htm>

- 競争入札契約参加資格審査における優遇措置： 庁舎等管理業務の委託契約に係る競争入札参加資格審査（登録）に当たり、障害者雇用を努める企業に5点を付与

●宮城県

- 障害者雇用促進企業等からの物品等調達： 県が調達する物品及び役務（工事関連を除く）について、障害者（精神障害者を含む）の雇用率が3.6%以上の中小企業者等を対象に、随意契約における優先的取り扱い、指名競争入札における優先指名を実施

<http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/buppin/shogai/top.htm>

- 建設工事に係る名簿登録の等級格付での優遇措置の実施

http://www.pref.miyagi.jp/keiyaku/nyusatu_sanka/zuizitouroku/kensetu/koji_touroku_kitei.pdf

●福島県

- 障害者雇用推進企業等からの物品等調達優遇制度

<http://www.pref.fukushima.jp/shinsa/syougait.htm>

●千葉県

- 物品調達・業務委託における入札登録企業の格付項目に障害者雇用状況を加味

●埼玉県

- 物品調達に係る名簿登録の等級格付での優遇措置の実施

<http://www.pref.saitama.jp/A11/BD00/yugusochi.htm>

●東京都

- 入札参加者指名基準において障害者雇用企業等を配慮
- 物品調達において福祉工場の製品を優先発注

●神奈川県

- 障害者雇用に努める企業等からの物品等調達に関する優遇措置

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/suitosomu/handicap/regulation/essential.htm>

●新潟県

- 公共工事の発注に際しての配慮： 入札参加資格の等級格付において法定雇用率達成企業の評点を10点加点

[http://www2.pref.niigata.jp/niigata/Webkeiji.nsf/0/673db9fd09b8d84d49256cdf001f53cf/\\$FILE/_l22av244jn488t48giuvg_.pdf](http://www2.pref.niigata.jp/niigata/Webkeiji.nsf/0/673db9fd09b8d84d49256cdf001f53cf/$FILE/_l22av244jn488t48giuvg_.pdf)

●山梨県

- 物品調達に係る名簿登録の等級格付での優遇措置の実施

●長野県

- 物品等調達における優先的な業者選定の実施

<http://www.pref.nagano.jp/syoukou/kassei/syogai/yoko.htm>

●岐阜県

- 障害者雇用努力企業等からの物品等調達制度（ハート購入制度）

<http://www.pref.gifu.jp/s11340/sousyutu/doryokukigyuu.htm>

- 建設工事入札資格者の等級格付上の配慮： 建設工事入札参加資格者の等級格付に使用する主観点数の算出に「障害者の雇用状況」を評価項目として設定

<http://www.pref.gifu.jp/s11650/nyusatu/syukantensuu.pdf>

●愛知県

- 物品等調達における優先的な業者選定の実施

<http://www.pref.aichi.jp/suitou-kanri/shougai-sha-youkou.htm>

●京都府

- 建設工事指名競争入札における配慮： 建設工事指名競争入札参加資格の審査に主観点を導入し、障害者の雇用状況を反映（法定雇用率達成企業への加点）

<http://www.pref.kyoto.jp/reiki/honbun/a3000265001.html>

●大阪府

- 建設工事入札参加資格上の配慮： 建設工事入札参加資格の等級区分評点において法定雇用率を達成している企業に福祉点を加算

<http://www.pref.osaka.jp/kenso/kenso-web/gaiyou.pdf>

●兵庫県

- 障害者雇用促進企業等からの物品・役務調達に係る優先的取り扱い

<http://web.pref.hyogo.jp/chij/seisakukaigi/150422/2-4-1.pdf>

●鳥取県

- 建設工事発注に際しての配慮： 県の建設工事入札参加資格の格付において、法定雇用率未達成の場合は減点

<http://www.pref.tottori.jp/kansa/H12gaiibuiken.PDF>

●山口県

- 物品調達における障害者雇用企業の優先的取り扱い： 身体障害者又は知的障害者の雇用率が3.6%以上の中小企業について、県が行う物品調達の随意契約・指名競争入札において優先的に取り扱う

<http://www.pref.yamaguchi.jp/gyosei/buppin/syougaisya.htm>

- 建設業者の格付に障害者法定雇用率の達成状況を反映させる制度

●沖縄県

- 建設工事に係る名簿登録の等級格付での優遇措置の実施

●仙台市

- 障害者雇用企業等からの物品・役務調達の優遇制度： 障害者（精神障害者を含む）の雇用率が3.6%以上の中小企業等を対象に、随意契約における優先発注、指名競争入札における優先指名を実施

<http://www.city.sendai.jp/kenkou/shougai/koyoubupin/>

●大阪市

- 障害者雇用促進企業に対する入札参加資格上の点数加算： 工事請負の入札資格審査において、障害者雇用率を達成している企業に格付の点数を加算

http://www.city.osaka.jp/zaisei/4manage/man02_04_03_2.html

●兵庫県尼崎市

- 建設工事に係る名簿登録の等級格付での優遇措置の実施

<http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/web/contents/info/city/city03/choudo/osirase2.htm>

参考資料 3-1

障害者の就業と業務受注に関するアンケート調査票

この調査票は、受注側である障害者雇用企業や作業所を対象に配布したアンケート調査票である。第3章・第1節で言及している第1回調査及び第2回調査は、この調査票により行った。

なお、実際の調査票はB4サイズであったが、ここではA4サイズに収めるため一部レイアウトを変更した。

障害者の就業と業務受注に関するアンケート調査票

問1 貴社または貴団体では主にどのような業務を行っていますか。当てはまる項目の前に○を付けて下さい（複数回答可）。「その他」を選択された場合は具体的にお書き下さい。なお、可能でしたら、お選びいただいた項目の〔 〕の部分には、その分野において障害者が従事することの多いと思われる主な作業をお書き下さい。

建設資材製造	[]
車両船舶製造	[]
什器類製造	[]
電気器具類製造	[]
燃料類製造	[]
百貨日用品類製造	[]
文具事務用機器類製造	[]
印刷物類製造	[]
施設管理（清掃を含む）	[]
資源回収	[]
クリーニング	[]
情報処理	[]
その他（	[]

問2 過去3年間における年あたりの受注契約総額は、おおよそどの程度ですか。差し支えない範囲でご記入下さい。

平成14年度（ ）千円

平成13年度（ ）千円

平成12年度（ ）千円

問3 発注元の種類についてお尋ねします。当てはまる項目の前に○を付けて下さい（複数回答可）。

「その他」を選択された場合は具体的にお書き下さい。なお、可能でしたら、お選びいただいた項目の [] の部分に、平成14年度においてその発注元からの受注額が受注額全体の何割程度になるかをご記入下さい。

民間企業	[] 割
公益法人	[] 割
市町村	[] 割
都道府県	[] 割
国	[] 割
その他 ()	[] 割

問4 これまでの主な受注経験から、安定的な受注が見込まれる契約の割合は、おおよその程度と思われるか。当てはまる項目の前に○を付けて下さい。

7割以上	1割以上
5割以上	よく分からない
3割以上	

問5 現在の受注機会は十分とお考えですか。当てはまる項目の前に○を付けて下さい。

十分である	比較的少ないと感じている
比較的多いと感じている	少ないと感じている
普通である	よく分からない

問6 受注業務の質・量と契約額との関係は妥当と感じていますか。当てはまる項目の前に○を付けて下さい。

妥当と感じている
契約額が多いと感じている
どちらかという契約額が多いと感じている
どちらかという契約額が少ないと感じている
契約額が少ないと感じている
よく分からない

上で「どちらかという契約額が少ないと感じている」あるいは「契約額が少ない」とお答えいただいた方にお尋ねします。

契約額を引き上げるためにはどのようなことが必要とお考えですか。施策上必要と思われること、個別に必要な工夫等自由にお答え下さい。

問7 発注される物品やサービスの量、あるいは、その納期が受注体制と合わないために受注できなかったケースというのはありませんか。当てはまる項目の前に○を付けて下さい。

よくある	ない
たまにある	よく分からない
あまりない	

問8 受注業務をこなすために他社あるいは他団体と協力するケースはありますか。当てはまる項目の前に○を付けて下さい。

よくある	あまりない
たまにある	ない

問9 差し支えなければ、貴社または貴団体の職員総数及び所属する障害者の数をお答え下さい。

職員総数

障害者である職員（作業所等の場合は作業従事者）の数

問10 障害者の働く場確保という観点から、発注/受注に関し以下の点についてご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

(10-1) 公的機関が施策として障害者雇用努力企業等への積極的発注を行うことに関し、その方法等についてどうお考えですか。当てはまる項目の前に○を付けて下さい（複数回答可）。

- ・積極的発注を行う公的機関の増加を望む
- ・発注の件数又は業務量を増やしてほしい
- ・発注する物品やサービスの種類を増やしてほしい
- ・障害者雇用努力企業として認定されるための条件（障害者雇用率 3.6%以上等）について、その率を引き上げるなどにより、より多く努力している企業が報われるようにしてほしい
- ・障害者雇用努力企業として認定されるための条件（障害者雇用率 3.6%以上等）について、その率を法定雇用率 1.8%と同程度にするなど緩和してほしい

(10-2) ドイツやフランスでは、障害者法定雇用率未達成企業が認定登録された授産施設や作業所等に業務を発注した場合、その発注額に応じて支払うべき納付金を一定程度減免するという仕組みが設けられています。障害者雇用努力企業や授産施設等への発注により納付金が減免されるというその仕組みについてどのようにお考えですか。最も当てはまると思われる項目の前に○を付けて下さい。

- ・障害者の常用雇用拡大等の観点から、発注による納付金減免の仕組みは望ましくない
- ・障害者の働く場拡大等の観点から、発注による納付金減免の仕組みが望ましい
- ・よく分からない

(10-3) 先の(10-2)で、「よく分からない」以外をお答えいただいた方にお伺いいたします。どのような理由でそうお考えになりますか。当てはまると思われる項目の前に○を付けて下さい(複数回答可)。

- ・発注を行う企業が増え、結果的に企業の障害者雇用への取り組みが減速するのではないかと懸念される。
- ・障害者雇用に取り組む企業と納付金が減免される企業との間に公平感の格差が生ずるのではないかと懸念される。
- ・納付金減免の限度額を設けるなどにより、それが障害者雇用促進を阻む要因とならないよう配慮した上で、発注による納付金減免を行うのがよい。
- ・発注先となる障害者雇用努力企業や授産施設等の認定登録の条件を、そこで多数の障害者が働いていることなど厳格なものとした上で仕組みを設けるなら効果がある。
- ・雇用による障害者の働く場確保だけでなく、発注という間接的な形での働く場確保も重要であるので、発注による納付金減免の仕組みを積極的に取り入れるべきと考えられる。

問 11 障害者の働く場の確保・拡大の観点から、発注/受注に関しその他何かご意見・ご要望がありましたら自由にお書き下さい。

問 12 貴社または貴団体の物品またはサービスに関わる販路や顧客の維持・拡大について、工夫されていること、あるいは課題がありましたら自由にお書き下さい。

問 13 最後に、差し支えなければ、貴社または貴団体の所在地の都道府県名・市町村名をお書き下さい。

参考資料3-2

業務発注と障害者の就業に関するアンケート調査票

この調査票は、発注側である特例子会社の親会社及びその他一般企業を対象に配布したアンケート調査票である。第3章・第1節で言及している第3回調査は、この調査票により行った。

なお、実際の調査票はB4サイズであったが、ここではA4サイズに収めるため一部レイアウトを変更した。

業務発注と障害者の就業に関するアンケート調査票

I 事業所について 貴社の所在都道府県（ ）

問1 貴事業所の法人格等について、該当するものを一つえらんで番号を○で囲んで下さい。

- | | |
|----------------|----------|
| 1 株式会社等の民間企業 | 5 社会福祉法人 |
| 2 国・地方公共団体 | 6 医療法人 |
| 3 独立行政法人又は特殊法人 | 7 その他 |
| 4 社団法人・財団法人 | |

問2 貴事業所の業種について該当するものの番号を○で囲んで下さい（複数回答可）。貴社の業務の内容を簡単に業務内容の記述の欄にご記入下さい。

業種

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1 農林漁業 | 9 金融・保険・不動産業 |
| 2 鉱業・建設業 | 10 飲食店、宿泊業 |
| 3 印刷業・同関連業（製本、加工等） | 11 医療、福祉 |
| 4 製造業（3以外の製造業） | 12 教育、学習支援業 |
| 5 電気・ガス・熱供給・水道業 | 13 サービス業 |
| 6 情報通信業 | 14 公務 |
| 7 運輸・通信業 | 15 その他（具体的に ） |
| 8 卸売・小売業、飲食業 | |

業務内容の記述

問3 平成15年1月1日時点の貴事業所の規模、企業形態について、該当するものに○をつけて下さい。

貴事業所の従業員数（常用労働者）

- | | |
|------------|----------------|
| 1 9人以下 | 6 300～999人 |
| 2 10～29人 | 7 1,000～1,999人 |
| 3 30～55人 | 8 2,000～4,999人 |
| 4 56～99人 | 9 5,000人以上 |
| 5 100～299人 | |

企業・団体の形態

- 1 1企業（団体）1事業所
- 2 1企業（団体）複数事業所

企業・団体全体の従業員数

- | | |
|------------|----------------|
| 1 9人以下 | 6 300～999人 |
| 2 10～29人 | 7 1,000～1,999人 |
| 3 30～55人 | 8 2,000～4,999人 |
| 4 56～99人 | 9 5,000人以上 |
| 5 100～299人 | |

貴事業所は本社事業ですか

- 1 本社
- 2 本社以外

II 仕事の発注状況等について

以下の質問での「発注」とは、貴社以外の外部（特例子会社を含む）へ仕事をまわすことを意味します。

問4 平成14年度中にどのくらい仕事を発注しましたか。概ねの延べ発注件数及び発注額を記入して下さい。

また、発注したものの内容と発注先の種類について当てはまるものの番号を○で囲んで下さい(複数回答可)。

合計

延べ発注件数

発注総額

(2) 発注したものの内容

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 建設資材 | 8 印刷物類 |
| 2 車両船舶 | 9 施設管理 |
| 3 什器類 | 10 資源回収 |
| 4 電気器具類 | 11 クリーニング |
| 5 燃料類 | 12 情報処理 |
| 6 百貨日用品類 | 13 その他 () |
| 7 文具事務用機器類 | |

発注先の種類

- 1 SOHO、在宅就労
- 2 情報処理会社、印刷会社等の業者
- 3 シルバー人材センター
- 4 障害者雇用に取り組んでいる事業所
- 5 障害者が働く授産施設や作業所
- 6 それ以外の障害者関係団体や障害者個人
- 7 その他

問5 仕事の発注はいつ頃から始めましたか。該当するものを一つ選んで○で囲んで下さい。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 1980年以前 | 4 1996年～2000年 |
| 2 1981年～1990年 | 5 2001年以降 |
| 3 1991年～1995年 | |

問6 仕事の発注を始めた動機は何ですか。該当するものを全て選んで番号を○で囲んで下さい。そのうち、もっとも重要なものは◎で囲んで下さい。

- 1 コスト削減のため
- 2 繁忙期の業務に対応するため
- 3 一時的な業務への対応
- 4 発注先事業所の仕事の質の高さを見込んで
- 5 障害者が仕事をする機会の増加に寄与するため
- 6 会社のイメージアップのため
- 7 発注先事業所から頼み込まれて
- 8 その他

問7 発注先事業所を知ったきっかけとは何ですか。該当するものの番号を○で囲んで下さい。

- 1 発注先事業所からの営業で
- 2 インターネットを通じて
- 3 県、市等の広報誌等での広報を見て
- 4 新聞や雑誌の広告を見て
- 5 ポスター、チラシ、パンフレットを見て
- 6 他社、知人からの紹介で
- 7 その他

問8 平成14年度中に発注した結果についてどのように評価していますか。次のA～Cの各項目について、1～5のうち最もよく当てはまるものの番号を○で囲んで下さい。

A 発注先の技能レベル

- | | |
|------------|------------|
| 1 大変満足している | 4 やや不満足である |
| 2 満足している | 5 不満足である |
| 3 普通 | |

B 価格

- | | |
|------------|------------|
| 1 大変満足している | 4 やや不満足である |
| 2 満足している | 5 不満足である |
| 3 普通 | |

C 納期

- | | |
|------------|------------|
| 1 大変満足している | 4 やや不満足である |
| 2 満足している | 5 不満足である |
| 3 普通 | |

問9 今後、発注量を増やす考えはありますか。当てはまるものを1つ選んで番号を○で囲んで下さい。増加又は減少が見込まれる場合には、その理由について、当てはまるものをすべて選んで番号を○で囲み、そのうち最も重要なものを◎で囲んで下さい。

- 1 増やす見込み
- 2 減らす見込み
- 3 変えない見込み
- 4 わからない

【増やす理由】

- a 発注している業務の増加が見込まれるため
- b 仕事の質が高いため
- c 価格が安いため
- d 仕事のスピードが速いため
- e 障害者が仕事をする機会の増加により積極的に協力するため
- f その他（具体的に ）

【減らす理由】

- g 発注している業務の減少が見込まれているため
- h 発注している業務を内部で行うようにする
- i 仕事の質が劣るため
- j 価格が高いため
- k 仕事のスピードが遅いため
- l その他（具体的に ）

問10 貴事業所から障害者関係の事業所、施設、団体等（以下「障害者関係事業所等」）への発注量を増加させるためには、何が必要だと思いますか。当てはまるものを3つまで選んで重要だと思うものから順に「1, 2, 3」と番号を記入して下さい。

- () 障害者関係事業所等の営業努力
- () 障害者関係事業所等の障害者の能力（品質）の向上
- () 障害者関係事業所等の仕事の価格の低下
- () 障害者関係事業所等の仕事のスピード及び向上
- () 障害者関係事業所等への発注に関する企業の動機付けを高めるような制度（具体的に ）
- () 国や地方公共団体による、障害者関係事業所等に関する情報提供
- () その他（具体的に ）

問11 障害者雇用全般に関しご意見・ご要望が有れば自由に記入して下さい。

視覚障害その他の理由で活字のままこの報告書を利用できない方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等を作成することを認めます。

その際は、下記までご連絡ください。

障害者職業総合センター 企画部企画調整室

TEL 043-297-9067

FAX 043-297-9057

なお、視覚障害者の方等でこの報告書（文章のみ）のテキストファイルをご希望されるときも、ご連絡下さい。

調査研究報告書 No.59

「障害者を多数雇用する企業等への発注が

障害者の雇用・就業に及ぼす影響に関する研究」

編著・発行 独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構

障害者職業総合センター

〒261-0014 千葉県美浜区若葉3-1-3

TEL 043-297-9067

FAX 043-297-9057

発行日 2004年3月

印刷・製本 株式会社 弘報社印刷

©障害者職業総合センター 2004



NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION